

観光ビジョン実現プログラム2019
～令和元年6月14日 観光立国推進閣僚会議～
(海事局関係抜粋)

1. 外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備

○規制の弾力化等を通じた多様なアクセス交通の実現

- ・訪日外国人旅行者をはじめとする観光需要が見込まれ、周辺の旅客船事業者
に悪影響を及ぼさないと認められる航路において、旅客船事業の制度運用を
弾力化する「インバウンド船旅振興制度」により、旅客船事業における新規参
入の促進や新規航路開設等、新サービス創出の支援を行う。【改善・強化】

○訪日外国人旅行者のストレスフリーな交通利用環境の実現

- ・地方部への訪日外国人旅行者誘致の加速化に向け、我が国へのゲートウェイと
なる空港・港湾から訪日外国人旅行者の来訪が特に多い観光地等に至るまでの
公共交通機関の利用環境を刷新するため、訪日外国人旅行者のニーズが特に高
い多言語対応（英語、中国語及び韓国語）、無料 Wi-Fi サービス、トイレの洋
式化、キャッシュレス決済対応等の取組を一気呵成に進めるなどにより、シー
ムレスで一貫した世界水準の交通サービスを実現する。地域鉄道等の公共交通
機関の利用環境について、2019 年度中に少なくとも 100 線区、2021 年度ま
でに全国 300 線区を抜本的に改善する。また、2018 年 4 月に施行された「外
国人観光旅客の旅行の容易化等の促進による国際観光の振興に関する法律の一
部を改正する法律」に基づき、観光庁長官が指定した区間において事業を経営
する公共交通事業者等による外国人観光旅客利便増進実施計画を 2019 年 5 月
中にとりまとめ、公共交通事業者等の計画的なインバウンド対応を促進する。
加えて、同年度末には必要に応じて指定区間や計画の見直しを実施すること
で、2020 年度以降の継続的対応を促す。【改善・強化】

2. 地域の新しい観光コンテンツの開発

○海事観光の推進

- ・プレジャーボート等によるクルーズ観光のモデルルートとなる「マリンチッ
ク街道」の全国における整備等、各種マリンアクティビティや「海の駅」に
ついて、利用の活性化に向けた取組を実施する。【新規】
- ・海や船の楽しさを伝える「C to Sea プロジェクト」の一環として、国内での
海事観光の魅力発信のため、船旅や、マリンアクティビティ等、海や船を利
用した魅力的な観光コンテンツを掘り起こし、動画や体験記事等を作成し
て、ポータルサイト「海ココ」、SNS、YouTube 等で発信する。【新規】

- ・ MaaS という新たなモビリティサービスが展開されつつある中、旅行中の検索ニーズに対応したインターネット等の経路検索における航路情報拡充のため、フェリー・旅客船事業者と経路検索事業者間のデータ共有環境整備に向けて作成・公表した「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」について、多言語対応も含めた普及促進を図る。【新規】

○国内クルーズ周遊ルートの開拓

- ・ 訪日外国人旅行者に対する観光資源としての船旅の認知度向上と利用促進のため、フェリー・旅客船と鉄道等の他モードと連携した広域周遊ルートの造成や船舶を活用したアイランドツーリズムの振興を図るなど、官民連携のもと、船旅の魅力向上や新しい海事観光コンテンツの創出に向けた取組を推進する。【改善・強化】 <再掲>

○日本発着クルーズに関するプロモーション等の実施

- ・ フライ&クルーズをはじめとした ASEAN からの訪日外国人旅行者の増加を図るため、日本政府観光局とも連携し、ASEAN の現地旅行会社等に対し、日本発着クルーズに関するプロモーションを行うとともに、日本と ASEAN のクルーズ関連情報を掲載した AJTP(Asean Japan Transport Partnership)ウェブサイトの充実等を行う。【継続】

3. 日本政府観光局と地域（自治体・観光地域づくり法人）の適切な役割分担と連携強化

○旅客船・フェリーの観光利用促進のための効果的な情報発信

- ・ 訪日外国人旅行者向け英語版ウェブサイト「Scenic Japan from the Water（船で見る日本の絶景検索サイト）」において、旅客船・フェリーターミナルまでのアクセスを含めた利用方法等を提供するとともに、船上からの風光明媚な景色や多様なニーズに対応した宿泊機能等、旅客船・フェリーの魅力を積極的に発信し、引き続き掲載内容の充実を図る。【改善・強化】